

- 問1 3世紀後半から4世紀にかけての日本列島の歴史において、大規模な古墳の築造が始まった時期の政治状況を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- 『魏志』倭人伝に記されているように、九州地方を中心とした女王による統治が続いた。
 - 近畿地方の有力な豪族を中心とした、複数の勢力による政治連合が形成された。
 - 各地の小国が対等な立場で同盟を結び、銅鐸を共有する祭祀によって平和を保った。
 - 朝鮮半島から移住した渡来人が、最新の鉄器技術を背景に単独の王朝を打ち立てた。
- 問2 古墳時代から飛鳥時代にかけて、大陸からの渡来人が伝えた新しい技術によって製作されるようになった「須恵器」について、その特徴や背景を説明したものとして最も適切なものを選択してください。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- 野焼きという古い技法で焼成された、赤褐色で厚手の土器である。
 - 穴窯（あながま）を用いて高温で焼成された、硬質で灰色の土器である。
 - 宋から輸入された銅銭を溶かし、金属加工の技術を応用して作られた器である。
 - 備中鍬や千歯扱きといった農具とともに、江戸時代の農業発展を支えるために開発された。
- 問3 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。
 - 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。
 - 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保证することで全国の武士を統制した。
 - 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。
- 問4 5世紀の朝鮮半島の情勢において、北部に位置する強大な高句麗が南下政策を進める中、倭（日本）と活発に交流を持ち、共同の利害関係にあった朝鮮半島南部の国々の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- 唐・宋
 - 隋・契丹
 - 高麗・渤海
 - 百濟・新羅
- 問5 4世紀末から5世紀の山口県の古墳から出土した銅鏡の記述など、瀬戸内海の航路の要所に位置する地域から王権に関連する品々が見つかることがあります。この事実から推測される、当時のヤマト王権の地方支配のあり方として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- 邪馬台国の女王卑弥呼が中国から受け取った鏡を、瀬戸内海の豪族に再分配した
 - 遣隋使を派遣するための寄港地を確保するため、山口県周辺を王権の直轄地とした
 - 海上交通の要所に位置する豪族と連携し、物流や情報のルートを確保しようとした
 - 大陸から伝来した青銅器の製造技術を、農業振興のために全国の農民へ普及させた
- 問6 埼玉県の稲荷山古墳から「大王」という称号が刻まれた鉄剣が出土した事実は、当時のヤマト政権の支配状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- 関東地方の豪族が、中国の皇帝から日本全体の支配権を認められていたこと
 - 律令に基づいた中央集権国家が完成し、全国に役人が派遣されていたこと
 - 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと
 - 仏教の布教活動を通じて、全国の豪族が精神的に統一されていたこと
- 問7 5世紀、ヤマト政権の王たちは「倭の五王」として中国の南朝に相次いで使者を送りました。当時の王たちが、朝鮮半島での軍事的な立場を有利にしたり、国内の支配体制を安定させたりするために、中国の皇帝から得ようとしたものは何ですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- 遣隋使や遣唐使を派遣するための正式な国交
 - 仏教を正式な国教とするための許可
 - 自らの地位や権威を証明する称号
 - 律令制度を導入するための法典や教本
- 問8 法隆寺などの寺院が建立され始めた時期、日本の歴史的背景における建築物の変遷について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。
 - 狩猟採集の生活から稲作を中心とする生活へ変化したことで、共同体の食料を保管するための高床倉庫が寺院へと発展した。
 - 律令制度の確立により、すべての有力者は墓を造ることを禁止され、代わりに都へ移住することが義務付けられた。
 - キリスト教の伝来により、各地の有力者は伝統的な墓の形式を捨て、教会を模した石造りの建築物を好むようになった。
- 問9 3世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼は、中国の魏へ使いを送り「親魏倭王」の称号を授かりました。このように、当時の倭の勢力が中国の王朝へ朝貢を行った政治的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- 中国皇帝の権威を背景にすることで、国内の諸勢力に対する支配力を高めるため
 - 遣唐使を停止したことによる文化的な遅れを取り戻すため
 - キリスト教の布教を阻止するために、中国からの軍事支援を取り付けるため
 - 幕府が定めた禁教政策を東アジア全域に広めるための協力を仰ぐため
- 問10 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った
 - 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている
 - 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した
 - 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている
- 問11 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた
 - 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた
 - 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた
 - 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた
- 問12 5世紀頃、大陸から日本へ移住した人々によって伝えられた技術のうち、それまでの赤褐色の土器とは異なり、穴窯を用いて高温で焼かれた硬い灰色の土器を何と呼びますか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- 土師器
 - 弥生土器
 - 須恵器
 - 縄文土器
- 問13 2019年に「百舌鳥・古市古墳群」の一部として世界文化遺産に登録された大仙陵古墳（仁徳天皇陵古墳）について、その形状と発見された遺物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- 形状：前方後円墳、遺物：人や動物の形をした埴輪
 - 形状：前方後円墳、遺物：大陸から伝わった陶磁器の破片
 - 形状：円墳、遺物：青銅で作られた大型の銅鐸
 - 形状：方墳、遺物：死者の身分を示すための仏像